

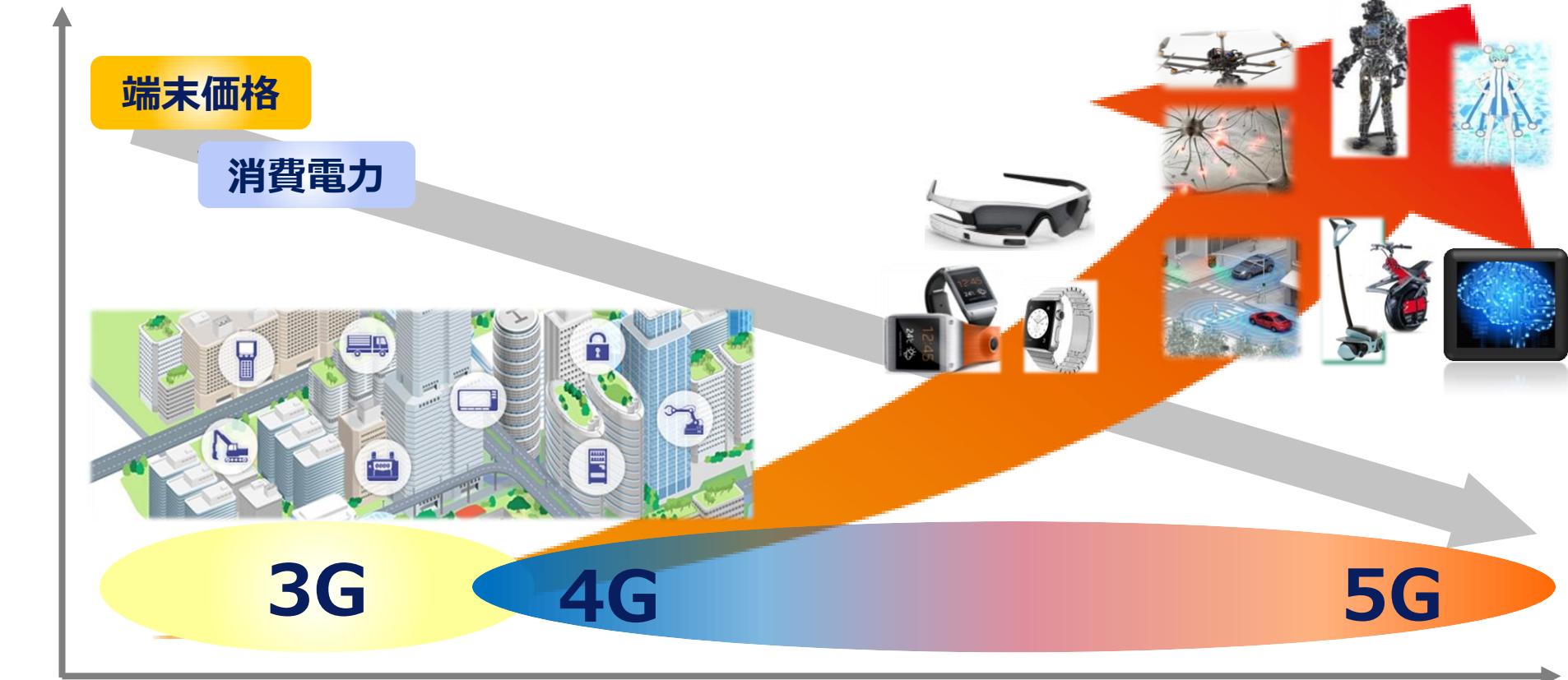
# 技術検討作業班 ご説明資料

2018年3月16日  
KDDI株式会社



# 通信ネットワークの進展

## 端末の低コスト化・低消費電力化により、IoT市場が更に発展



## いろんな“モノ”が インターネットにつながる

センサー

電力  
メーター

監視  
カメラ

クルマ

ウェアラ  
ブル

家電

## IoTで新たな価値を創造



ガス・水道メータリング



貨物追跡



ウェアラブル



漁業・農業系センサー



ファシリティ



スマートホーム



スマートシティ（ごみ箱）



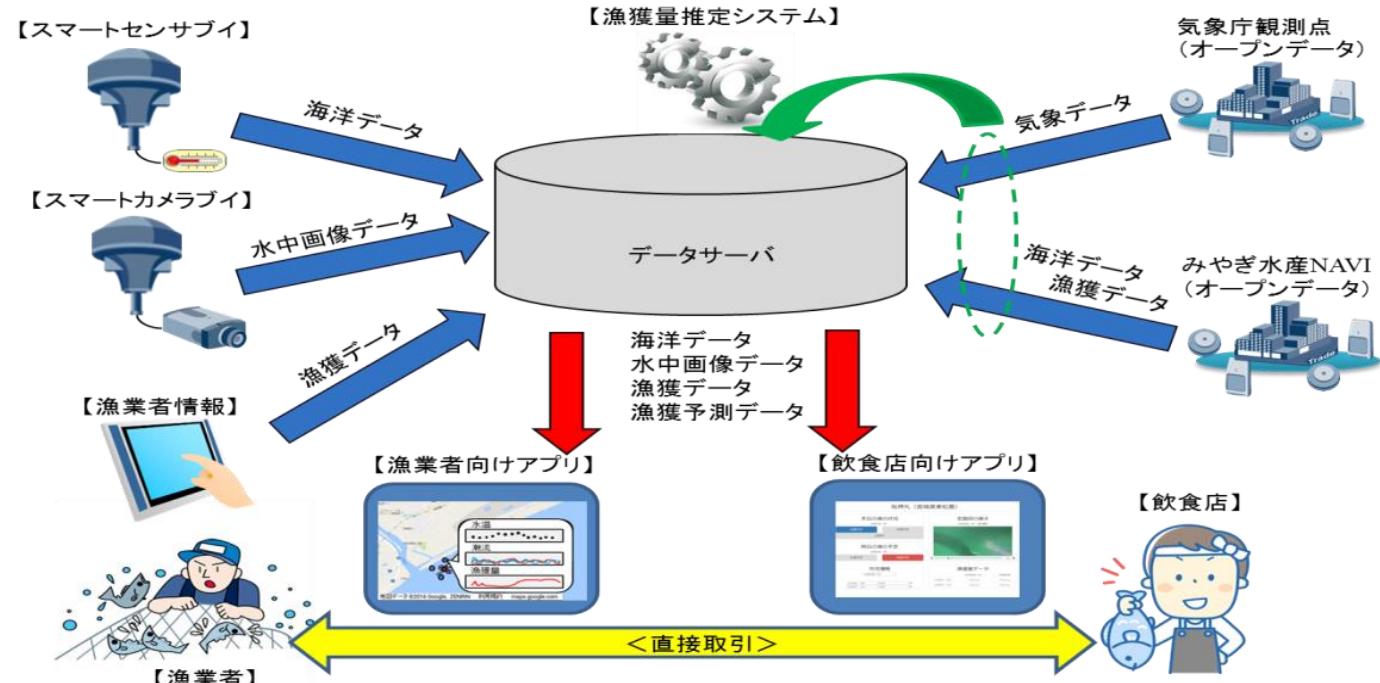
IoTで更なる  
業務の効率化  
を加速

# IoTへの取り組み

①スマート漁業

②IoTごみ箱

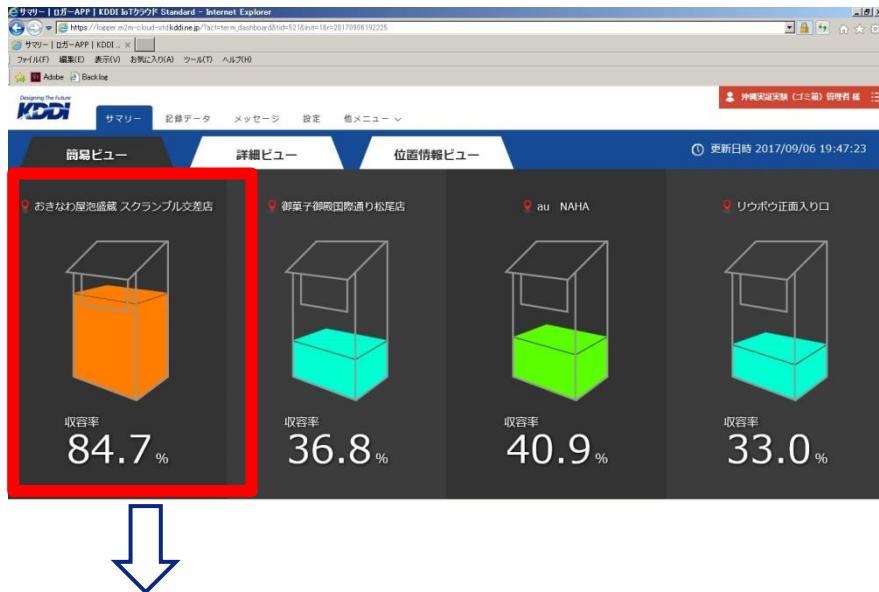
# 定置網漁にセンサーとビッグデータを活用した、漁師の経験を数値化する新たな漁業モデル



## ごみの量をリアルタイムで計測し傾向分析、回収を最適化へ



IoTごみ箱



閾値を超過するとメールでお知らせ

携帯電話網を活用したセルラーIoT※通信プラットフォーム  
「KDDI IoTコネクト LPWA」を18年1月より提供開始

## KDDI IoTコネクト LPWA



※4G LTEネットワークを利用するLPWA 技術を用いた通信サービス

# LPWAの事故報告基準について

- ✓ 影響数の考え方
  - ・M2Mがメイン（産業用センサーへの活用など）
  - ・端末の通信主体はモノ（人間ではない）であり、端末数≠利用者  
⇒ 利用者数＝契約数の考え方方が適切
  
- ✓ 影響時間の考え方
  - ・基本的に間欠通信であり、休止状態中の障害は影響しない
  - ・リアルタイム性を要しないサービスモデル（再送を許容）  
⇒ ユーザーの利用シーンやアプリの仕様により、形態が様々であり、新たな時間軸の策定が必要

*Designing The Future*

**KDDI**